

「デザインブランドアッププロジェクト」のコンセプトで 相鉄線海老名駅をリニューアル 改札口を増設しホームドアや保育施設を整備

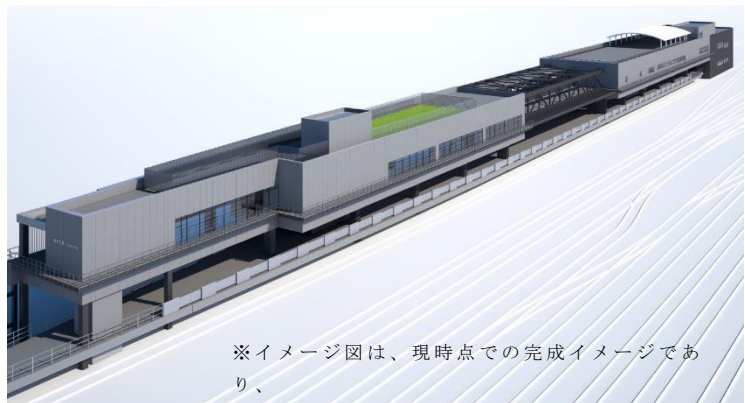
相模鉄道株式会社
海老名市

相鉄グループの相模鉄道(株)（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）と海老名市（市長・内野優）では、相鉄線海老名駅改良工事を行っています。

新駅舎は地上3階建てとし、商業施設や保育施設を整備してお客様の利便性向上を図ります。また、混雑の解消を図るため既存の改札口（1階南口）に加えホームの両端となる南北の2階部分に改札口をそれぞれ1カ所増設。ホームにはホームドア（可動式ホーム柵）を設置して全てのお客様が安全、安心、快適にご利用いただける駅を目指します。

駅舎のデザインは、相鉄グループが取り組む「デザインブランドアッププロジェクト」*の統一コンセプトに基づき、外壁に濃いグレーを採用し、内装にはキーマテリアルとなる鉄やレンガ、ガラス等を使用します。完成は、2020年（平成32年）3月を予定しています。

概要は、別紙のとおりです。



※イメージ図は、現時点での完成イメージであり、
今後デザインなどの変更が考えられます。

駅舎全体イメージ図（東口駅前広場側から）



※イメージ図は、現時点での完成イメージであり、
今後デザインなどの変更が考えられます。

なお本日、この資料は次の記者クラブにお届けしています。

- 国土交通記者会 ○神奈川県政記者クラブ ○横浜市政記者会 ○横浜経済記者クラブ
○大和市記者クラブ ○厚木市記者クラブ

本件に関するお問い合わせは

相鉄ビジネスサービス(株) 総務広報サービス部（広報担当） 045-319-2057 とびかわ 飛川・山中
海老名市 まちづくり部 駅周辺対策課 046-235-9688

相鉄線海老名駅改良工事の概要

- | | |
|-------------|--|
| 1. 構 造 | 地上3階建て |
| 2. 概 要 | ・改札口2カ所増設（2階北口改札口・2階南口改札口）
・生活支援施設（保育施設）設置
・ホームドア（可動式ホーム柵）の設置
・連絡通路新設 |
| 3. 総 事 業 費 | 約50億円（概算） |
| 4. 事 業 主 体 | （一社）海老名市地域公共交通協議会 |
| 5. 補 助 金 | 国土交通省鉄道局所管「駅総合改善事業・形成計画事業」 |
| 6. 補助および負担率 | 国1/3、地方自治体1/3、鉄道事業者1/3 |
| 7. 事 業 期 間 | 2015年（平成27年）4月から
2020年（平成32年）3月（予定） |

相鉄海老名駅の概要

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1. 所 在 地 | 神奈川県海老名市めぐみ町1番2号 |
| 2. 構 造 | 地上2階建て 改札口1カ所（1階南口） |
| 3. 1 日 平 均
乗 降 人 員 | 121,147人〔2016年度（平成28年度）〕 |
| 4. 開 業 | 1941年（昭和16年）
1973年（昭和48年）に現在地に移設 |



2階改札口のイメージ（左が南口・右が北口）

※イメージ図は、現時点での完成イメージであり、今後デザインなどの変更が考えられます。

*「デザインブランドアッププロジェクト」とは・・・

デザインの総合監修を「くまモン」の生みの親で、クリエイティブディレクターの水野学氏（グッドデザインカンパニー代表）、空間プロデューサーの洪恒夫氏（榊丹青社）に依頼し、お客様との最大の接点となる駅舎や車両、制服などを統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指す相鉄グループの取り組み。

公式サイト（<http://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>）